

市町村名 ・所属名	長生村 健康推進課			フッ化物洗口開始年度	H19		
保育所数	3 / 3	幼稚園数	/	小学校数	0 / 3	中学校数	0 / 1

※実施施設数/全施設数 (H18年3月8日現在)

【フッ化物洗口に関する前年度までの経緯】

乳児健診・一歳半健診・わんぱく教室(2歳児)・三歳児健診時に、集団・個別の歯科保健指導を実施してきた。三歳を過ぎると歯科保健指導の機会がなく、う蝕が増大してしまうことからフッ化物洗口モデル事業について健康指導係内部で話し合い関係者の同意が得られれば実施することにし、H18年3月健康づくり推進協議会並びに保健事業担当者打合せ会議にて提案し、関係者と協議することとした。

【推進体制づくりの経緯】

実施事項	具体的な内容	評価
歯科医師の意見を伺う	3月23日 フッ化物洗口実施に関して歯科医師の意見を求めたところ次のような意見が出された。 ① 継続可能であればよい。 ② 対象者は保育所年長児と小学校1年生。毎年1学年ごと増やしていく。 ③ 保護者にアンケートで希望調査する。	関係歯科医師すべてに情報を共有でき賛同を得られた。 継続については、予算的に不安が残る。
フッ化物洗口打合せ会議	5月25日 歯科医師3名・保育所長3名・養護教諭2名 福祉課2名・学校教育課1名・主管課4名 ・ 乳幼児歯科の現状と取り組みについて ・ フッ化物洗口ガイドライン、実施までの流れについて説明。 事業に協力できるか後日回答をもらう。	保育所が前向きに取り組みたいとの考えが得られた。 学校長代表から小学校は3校とも実施しないとの回答。 学校長も含めての会議の開催を検討した方が、良かったのではないかと。
事業協議	9月22日 歯科医師2名・保育所長3名・福祉課1名・主管課2名 今後の進め方、日程について協議した。	先進地視察の意見がでたため視察研修をすることにした。
フッ化物研修会 (茂原市へ参加)	10月31日 茂原市立萩原小学校フッ化物洗口研修に参加 主管課2名	参加させていただき教職員への知識の周知方法が理解できた。
フッ化物洗口保護者説明会 (茂原市へ参加)	11月10日 茂原市立萩原小学校フッ化物洗口保護者説明会 主管課2名	参加させていただき保護者からの質疑(意見)が参考になった。会場の様子や

原市へ参加)		内容を習得できた。
関係者の研修会	12月7日 講師：県歯科医師会 学校歯科保健委員会 馬場俊郎氏 歯科医師3名・歯科衛生士1名・保育所長3名 保育士2名・福祉課2名・主管課4名 フッ化物洗口に関する研修会を開催した。 参加者に洗口体験実施。	関係機関や担当者の理解が深まった。 質疑では、具体的で大変分かりやすかった。 洗口体験も有効だった。
事業協議	12月7日 研修会終了後 歯科医師3名・保育所長3名・主管課2名 保護者説明会通知と一緒に事前にリーフレットも入れるか。希望アンケートを実施するか。保護者説明会の実施通知・申込書について通知する時期や申し込み締め切り日について具体的に検討した。 通知文にフッ化物洗口の簡単な概要説明を入れることにした。	具体的な作業日程が確認できた。
先進地視察研修	12月14日 鴨川市立天津小湊保育園 歯科医師1名・保育所長3名・保育士2名・主管課2名 視察研修。	視察させていただきイメージができた。 また、実施方法の詳細など質問でき参考になった。
保護者説明会事前協議（電話）	H19年1月9日 歯科医師・主管課との保護者説明会に際しての事前協議を電話にて行う。 ・ 主にフッ化物の効果と安全について	3保育所ともそれぞれ違う講師で実施するため話す内容を予め確認した。

【施設における取り組み内容】

※今年度実施した施設ごとに記載のこと

施設①		
長生村立八積保育所 児童数154人（対象者数41人） 職員数12人		
実施事項	具体的な内容	評価
保護者説明会	H19年1月11日 午後4時から4時30分 歯科医師1名・歯科衛生士1名・保護者33名・保育所長1名・保育士3名 福祉課1名・主管課3名 歯科検診担当歯科医師を講師に、フッ化物洗口に関する保護者説明会を実施。 フッ化物のお話は歯科医師。洗口実技は歯科衛生士。 保護者に洗口体験実施。申込書の配付。 申し込みはいつでも申し出れば変更することができる旨説明した。	夕方に参加しやすい時間に開催した。80.5%の参加があった。 短時間で歯科医師・歯科衛生士で分担したため参加の理解が得やすかった。

洗口練習	2月1日開始 歯科衛生士1人・園児・保育所長1名・保育士6名・福祉課1名・主管課3名 3歳以上の園児全員。むし歯のお話を劇で実施後、歯磨き体操をする。その後クラスに戻り年中児のみH19年4月からのフッ化物洗口実施に向けて水道水による洗口練習を週5日実施する。洗口用の器具を実際に使用して行った。	説明をしても理解の遅い児がいるが、気長に練習させることにし、無理なく可能になったら実施する。ブクブクうがいの習慣化を図る。
洗口の実施	H19年4月より開始予定。全員実施希望。保護者には、文書で通知する予定である。	申し込みの変更がないか確認。

施設② 長生立高根保育所 児童数136人(対象者数40人) 職員数11人		
実施事項	具体的な内容	評価
保護者説明会	H19年1月18日 午後4時から4時30分 歯科医師1名・歯科衛生士1名・保護者30名・保育士5名・主管課3名 歯科検診担当歯科医師を講師に、フッ化物洗口に関する保護者説明会を実施。 フッ化物応用のお話は歯科医師。洗口実技は歯科衛生士。保護者に洗口体験実施。申込書の配付。申し込みはいつでも申し出れば変更ができる旨説明した。	夕方で参加しやすい時間に開催した。75%の参加があった。 短時間で歯科医師・歯科衛生士で分担したため参加の理解が得やすかった。
洗口練習	2月8日開始 歯科衛生士1名・園児・保育所長1名・保育士5名・主管課 3歳以上の園児全員。むし歯のお話を劇で実施後歯磨き体操をする。その後クラスに戻り年中児のみH19年4月からのフッ化物洗口に向けて水道水による洗口練習を週5日実施する。洗口用の器具を実際に使用して行った。	無理なく可能になったら実施する。ブクブクうがいの習慣化を図る。
洗口の実施	H19年4月より開始予定。全員実施希望。保護者には、文書で通知する予定である。	申し込みの変更がないか確認。

施設③ 長生村立一松保育所 児童数71人(対象者数20人) 職員数7人		
実施事項	具体的な内容	評価
保護者説明会	H19年1月25日 歯科医師1名・歯科衛生士1名・保護者16名・	夕方で参加しやすい時間に開催した。80%の参加

	<p>保育所長1名・保育士5名・主管課3名 歯科検診担当歯科医師を講師に、フッ化物洗口に関する保護者説明会を実施。 フッ化物応用のお話は歯科医師。洗口実技は歯科衛生士。保護者に洗口体験実施。 申し込みはいつでも申し出れば変更ができる旨説明した。</p>	<p>があった。 短時間で歯科医師・歯科衛生士で分担したため参加の理解が得やすかった。</p>
洗口練習	<p>2月22日開始 歯科衛生士1名・園児・保育所長1名・保育士4名・主管課2名 3歳以上の園児全員。むし歯のお話を劇で実施後歯磨き体操をする。その後クラスに戻り年中児のみH19年4月からのフッ化物洗口実施に向けて水道水による洗口練習を週5日実施する。 洗口用の器具を実際に使用して行った。</p>	<p>無理なく可能になったら実施する。ブクブクうがいの習慣化を図る。</p>
洗口の実施	<p>H19年4月より開始予定。全員実施希望。保護者には、文書で通知する予定である。</p>	<p>申し込みの変更がないか確認。</p>

【問題となったこと・今後の課題とその対応について】

- ・保育所年長児にフッ化物洗口を実施して、1年間だけで終わってしまうのは残念。保護者から学校にいてもフッ化物洗口をやってほしいとの声も聞かれたので、これから保護者への継続実施と学校の協力を働きかけていきたい。
- ・モデル事業終了後の予算化について、強く要求していきたい。県の補助金があれば予算化しやすいと思う。

【19年度以降の事業の予定・市町村事業としての予算化の有無】

- ・村の5カ年計画（H18～22年度）にはフッ化物洗口事業を盛り込んだ。予算がつくかどうか未定。

【活用した参考資料や文献 ※特に有効だったもの】

名称	概要	活用場面	費用や入手先等
<ul style="list-style-type: none"> ・う蝕予防のためのフッ化物洗口実施マニュアル（本） ・フッ化物でむし歯予防（リーフレット） 	<ul style="list-style-type: none"> ・意義と基礎知識及び実施方法。Q&A。ガイドライン。 ・むし歯のできる要因、フッ化物の予防効果と安全性 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者の知識の習得。 ・職員研修、保護者説明会にて配付。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県 ・1部80円 販売元（株）アイ・メデイカル